

2号機使用済燃料プール内調査の計画について

2020年4月30日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

<調査概要>

- 2号機は、オペフロ内の線量が高くアクセスが困難なため、これまで使用済燃料プール（SFP）内の調査が出来ていない。
- 燃料取り出しにあたって燃料上部やキャスクピット内の干渉物等の有無、ならびにプールゲートやスキマサージタンクの状態を確認をするため、2020年6月中旬にSFP内調査を実施する。

<調査方法>

- 西側構台の前室から機材を搬入し、水中ROVを遠隔操作して調査を行う。
- 水中ROVや水中照明の設置など機材の搬入・片付けは、これまでのオペフロ内残置物移動・片付け作業で使用している遠隔無人重機・小型ロボットにより行う。



水中ROV



水中ROVの走行イメージ

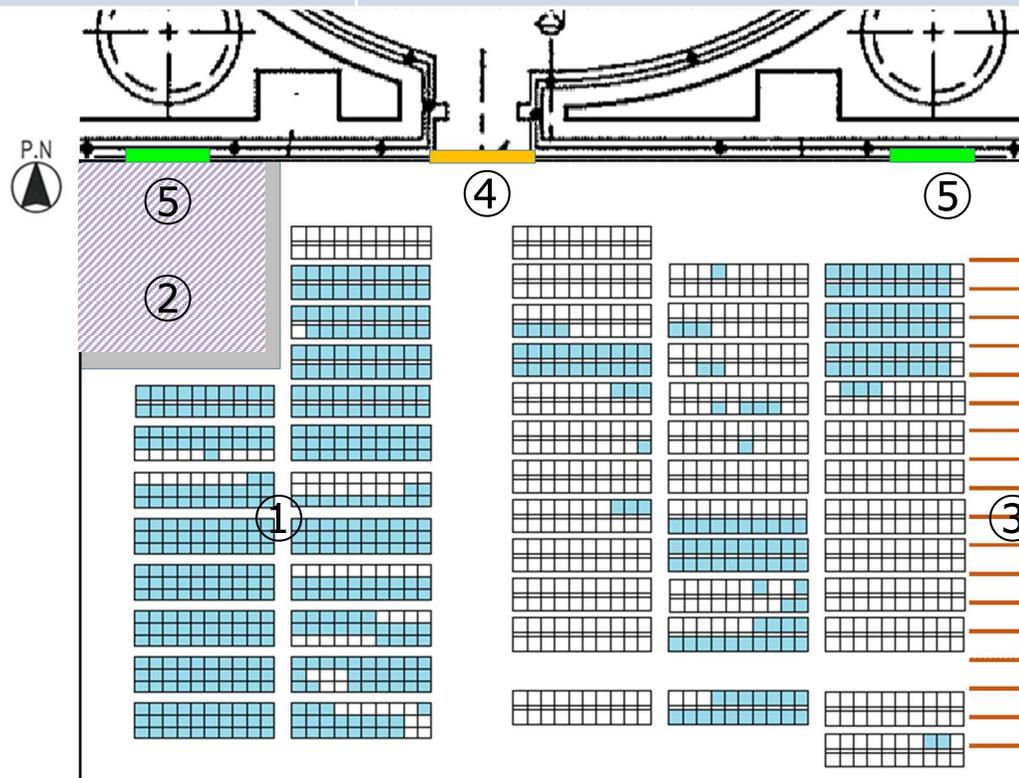


遠隔無人重機（BROKK）



小型ロボット（Kobra、Packbot）

調査対象	確認のポイント
① 燃料・燃料ラック上部	燃料や燃料ラック上部の干渉物や変形の確認
② キャスクピット	キャスクピット底部の干渉物、キャスクピット梁の変形の確認
③ 制御棒	制御棒落下、制御棒ハンガーの変形の確認
④ プールゲート	プールゲートの変形、プールゲートを抑えるボルトの状態の確認
⑤ スキマサージタンク入口	入口の可動堰の変形、可動堰の止めネジの外れの確認

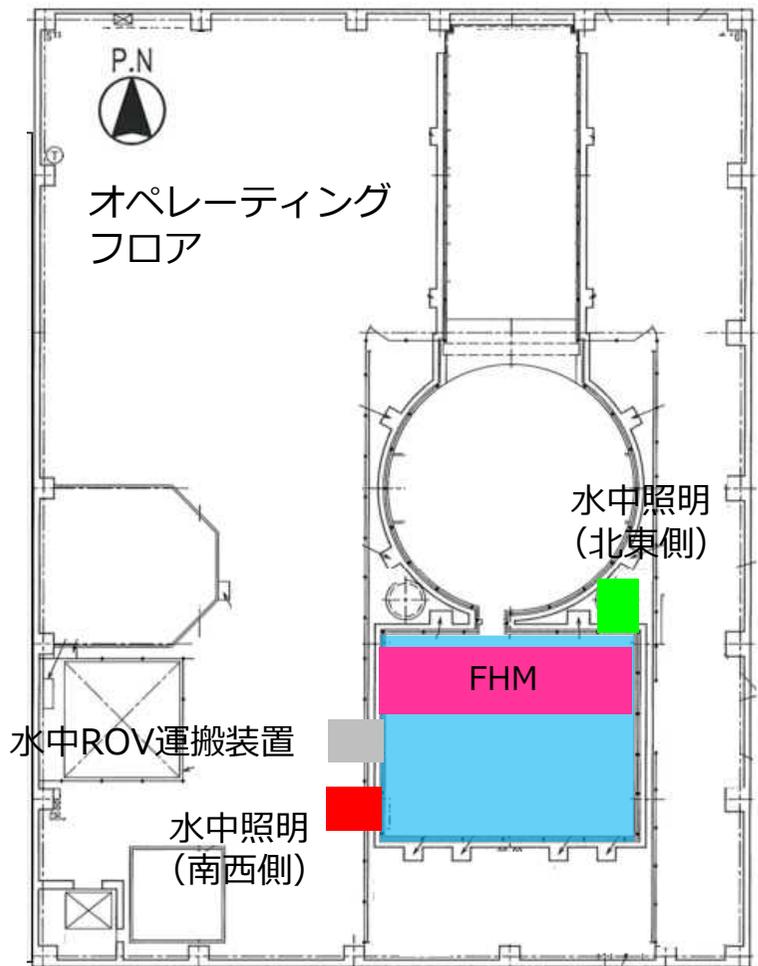


<調査対象物>

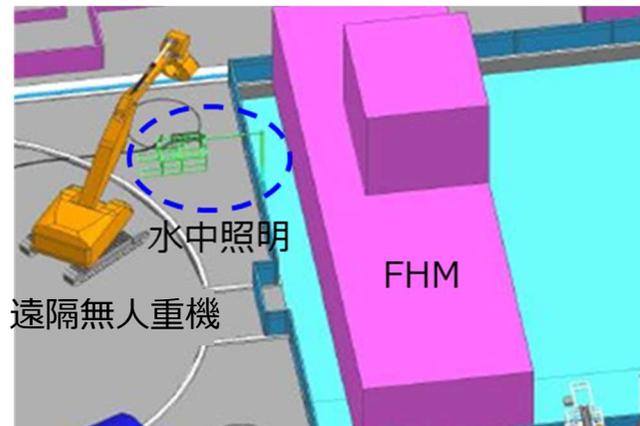
- :① 燃料、燃料ラック
(□は燃料が入っていないラックを表す)
- :② キャスクピット
- :③ 制御棒、制御棒ハンガー
- :④ プールゲート
- :⑤ スキマサージタンク入口

調査対象項目のSFP内配置

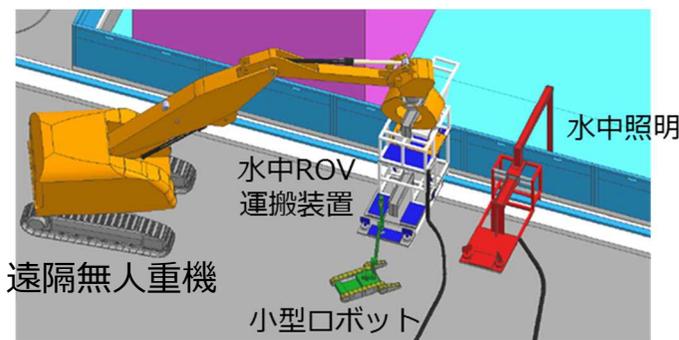
- 遠隔無人重機を用いて、下記のとおり調査機材を運搬、設置する。
 - ✓ 南西側：水中ROVを運搬する装置、水中照明
 - ✓ 北東側：水中照明
- 調査機材を設置後、水中ROVをSFPへリリースし調査を開始する。



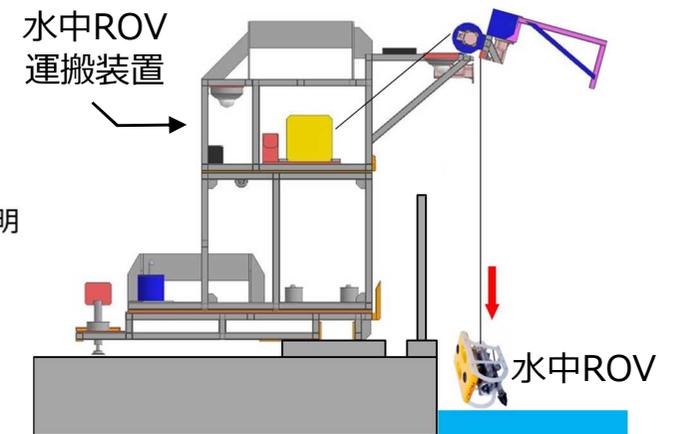
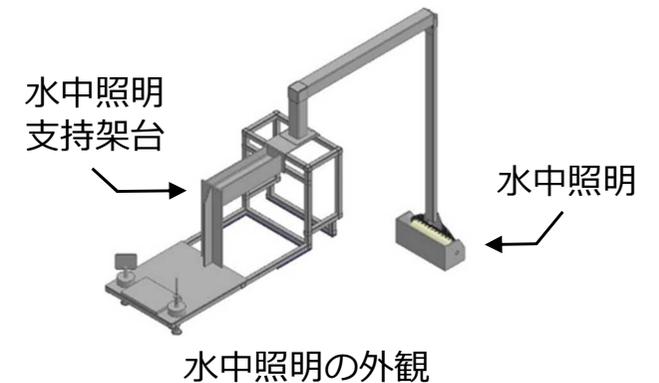
調査機材の配置イメージ



SFP北東側の機材設置イメージ



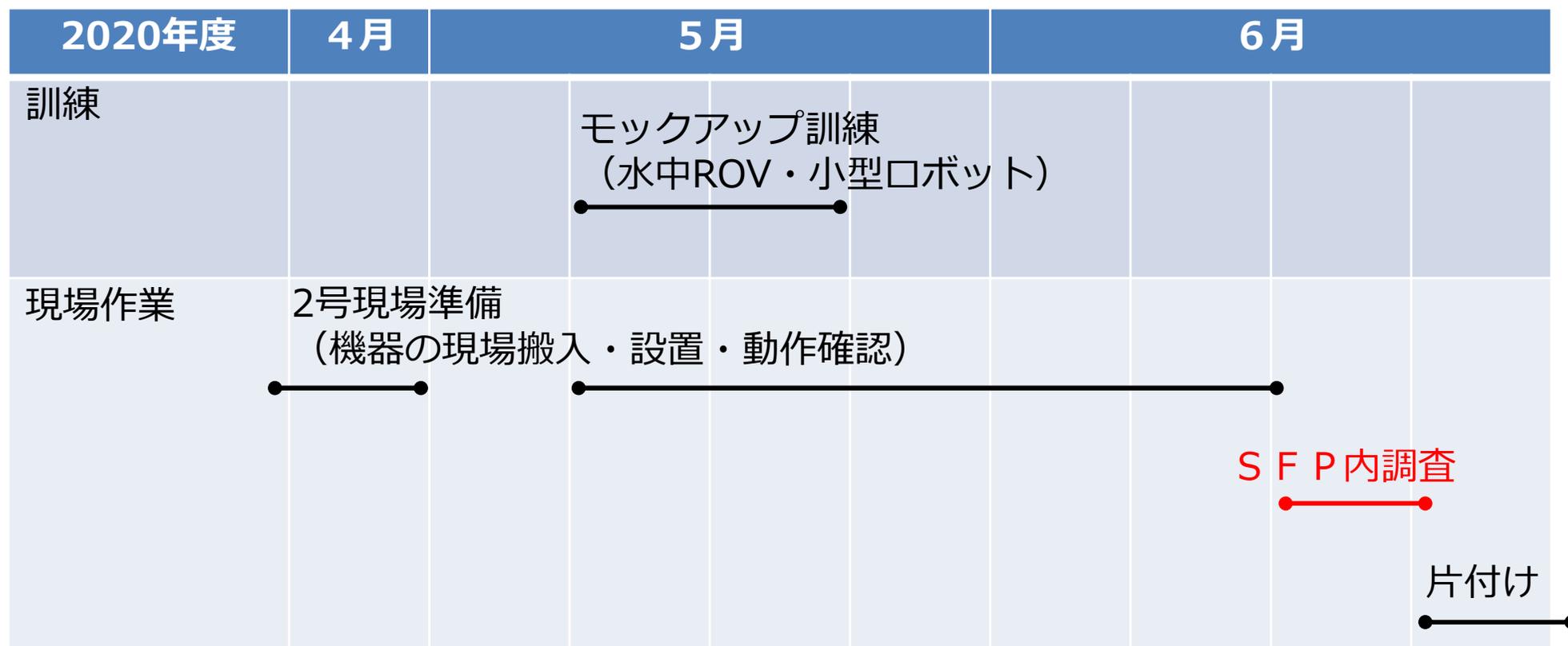
SFP南西側の機材設置イメージ



水中ROVをSFPへリリースする際のイメージ

- 4月下旬から調査機器の現場搬入・設置・動作確認を行い、5月中旬にモックアップ訓練を行う。（水中ROVの訓練は南相馬市の福島ロボットテストフィールドにて実施する）
- 上記準備が完了した後、6月中旬にSFP内調査を行う。
- SFP内調査の結果を踏まえて、燃料取り出し設備の設計に反映する。

＜1F-2号機 S F P 内調査及び準備スケジュール＞



※上記スケジュールは、訓練や現場準備状況等により変更となる可能性あり